

2023. 09. 09

No.012

関東大震災から100年 鉄道の安全を、いま一度考えよう！

鉄道は、自然災害や事故などの危険と常に隣り合わせの交通機関です。自然災害には耐震補強や防火などのハード面の対策と、災害に対する社員教育や避難訓練等のソフト面の対策の両面から取り組み、いつ発生してもおかしくない災害に日頃から備える必要があります。

一方、事故に関しては、日ごろからの点検や確認を徹底するとともに、鉄道会社として**絶対に事故を起こしてはならないという明確な経営姿勢**が求められます。

では、今の会社・職場はどうでしょうか？

- ・ 経験ある人を強制転勤させた結果、技術継承が蔑ろにされ職場が素人化していませんか？
- ・ 教育・訓練がマニュアル化していませんか？
- ・ 適正な人員は確保されていますか？
- ・ 発生した事象の対策のみに追われ、なぜ発生したのか？要因は何なのか、原因究明が疎かにされていませんか？

東海道線では電化柱と衝突し、あわや大惨事となる事故が発生しました。JR東日本の営利優先の経営体質が形として表れたと言っても過言ではありません。

**安全にはマンパワーが必要である！
会社は過度な効率化や経験を無視した
異動を改め、異常時に強い職場をつくるべきだ！**